

新しい道を切り拓いた いわての女性たち

いわての初代医療ケースワーカー

あか さわ み き こ
赤澤 美喜子

1914年(大正3)青森県に生まれる。盛岡の日本赤十字看護学校に入学し、盛岡の日赤病院のほか、様々な医療機関で活躍する。1978年(昭和53)医療ケースワーカーとしての活動が高く評価され、岩手日報文化賞の社会部門を受賞する。

日中戦争が始まり、日赤看護婦にも男子の兵役同様に召集令状(赤紙)が届いた。美喜子も看護学校卒業と同時に従軍看護婦として戦地に赴くことになる。その時の心境を「お国のためと一心不乱だった」と語る。時に狙撃の危険を感じながら、5年近くも大陸の兵隊病院で兵士の治療に従事し、陸軍・海軍の野戦病院を巡り、最後は北海道で召集解除となる。

1949年(昭和24)盛岡赤十字病院に医療相談所が開設され、初代の医療社会事業司(医療ケースワーカー)として着任する。

医療費の支払い、家に残した家族の事、福祉手当、患者本人の精神面...多岐にわたる相談に対応するため、あらゆる分野の知識が必要になる。美喜子は様々な機関に赴き、法的、心理学的知識を身につけ、ケースワーカーの概念と、ケースワーカーとしての自分を確立していった。

最初にぶつかった問題は、長期入院などにより学業から離れてしまう子どもたちの存在だった。知り合いの学生らに頼み、マンツーマンで子どもたちの勉強を見てもらったが、自分の勉強が疎かになった学生が進級できなくなるなど、美喜子を悩ませる大きな問題に発展した。

解決に向けて美喜子が起した行動は、病院内に学校を作る事だった。日赤看護学校の開設である。この事が全国都道府県への養護学校設置を義務付ける養護学校法の1979年(昭和54)施行に繋がった。

黄綬褒章(1973年)、岩手日報文化賞(1979年)などを受賞した後も熱心な支援活動をし、患者やその家族の心を支え続けた。1993年には県勢功労者表彰を受ける。ケースワーカーのパイオニアとして岩手医療社会福祉事業協会の初代会長を務めた。

2001年10月16日、ガンのため盛岡市内の病院にて逝去。患者たちの心身のケアに捧げた87年の生涯だった。



参考文献:【わが愛、いわての女(ひと)】岩手放送編 ほか

女性相談(本館)

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。相談は無料です。秘密はかたく守ります。相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

(第2火曜日、年末年始、祝日は休み)



もりおか女性センター

管理・運営:特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

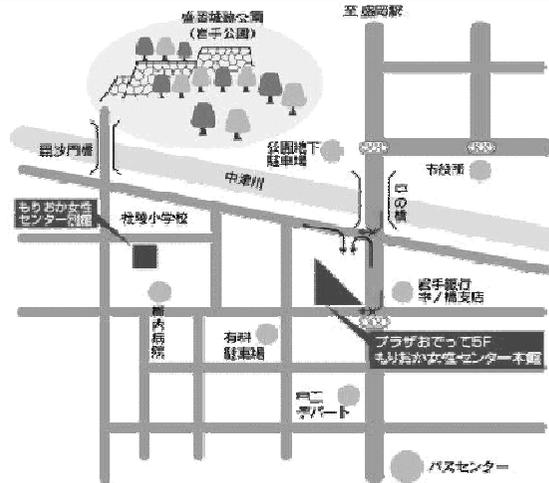
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019)604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日~金曜日9:00~21:30(土日祝17:00まで)
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8
電話番号 (019)624-3583(FAX兼)
開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



(バス) 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

今年の冬は大雪の後の厳しい寒さのため道路は凍結し大変な状況でした。盛岡に生まれ育ち 十年の私は雪道に慣れているはず!しかし不覚にも転倒し骨折、初ギブス生活を体験してしまいました。なんと不自由なこと... あらためて日頃の健康な体に感謝する良い時間をいただいたと前向きに思うことにした私でした。(N)

昨夏、うだるような猛暑だったかと思うと、この冬は ゆき、ゆき... また雪か~ と、降り積もる雪に悩まされ、雪べらを持つわが二の腕はさらにたくましくなりました。そして、やっと春の暖かさが感じられる頃、ニュースレターも今年度最後の号となりました。次年度も引き続きご愛読いただけたら嬉しいです。(Y)

ひとひと、女と男、ともに参画する社会をめざして-

もりおか女性センター

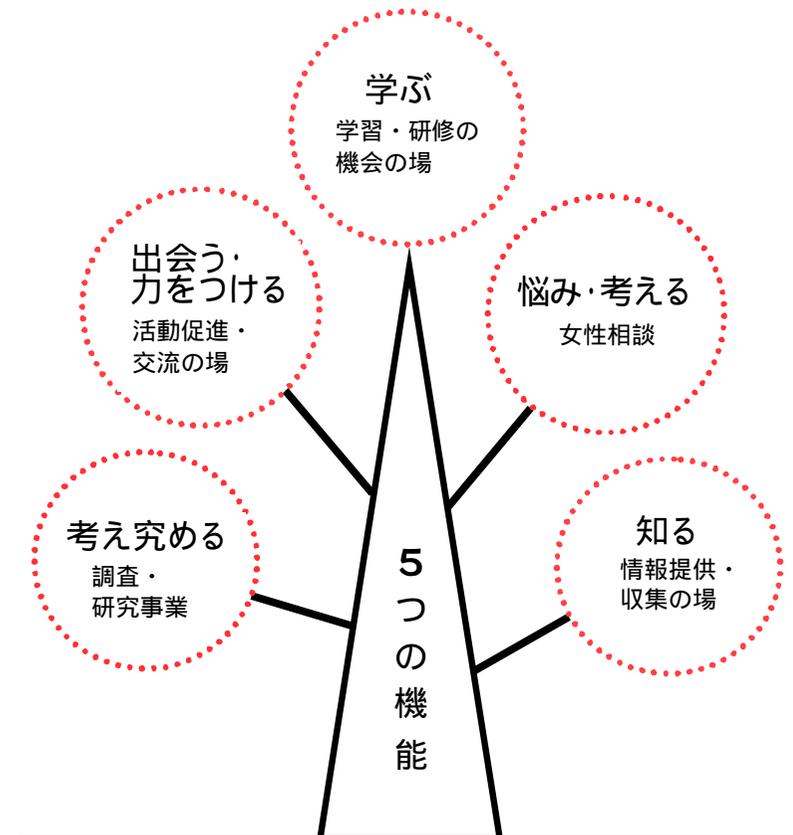
2011年
3月

No. 29

ニュースレター

内容

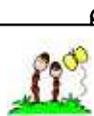
平成22年度 開催講座の報告
新しい道を切り拓いた いわての女性たち 「赤澤 美喜子」
平成23年度 事業のお知らせ



平成22年度事業テーマ
『女性センターで発見する わたしのチカラ みんなのパワー』

発行:もりおか女性センター

平成22年度 開催講座の報告



「シングルマザー就労応援 パソコン入門講座」 「パソコン資格取得講座」

5, 6月

5月、6月と母子家庭のお母さん向けのパソコン講座を開催しました。今やパソコンの技能は就職の必須条件となりました。

この入門講座は、パソコンの電源を入れ、マウスの操作から学ぶ初心者対象の内容のため、毎年、受講生から好評の声をいただいています。また、今年度は「マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2007」を取得するための資格取得講座も実施しました。今後も母子家庭のお母さんのスキルアップを応援していきます！

入門講座は12月にも第2弾を開催しました。

6, 7月

「思いを力に変える、 女性のためのエンパワーメント塾」【基礎編】

(全8回)

第2期目となった今年度の「エンパワーメント塾」【基礎編】では、女性たちが培ってきた学びや経験、地域活動等を『社会的キャリア』と位置づけ学びを積み重ねてきました。

一人ひとりの持っている「力」を社会的な活動へ活かすために、この講座では講師による講義とグループワークでの“気づき”“ふり返し”“共有”を繰り返しながら、ゆっくり、でも着実に「実践につながる力」を育ててきました。また、担当グループによる会場設営・受付・進行・学習日誌の記入をはじめ、任意参加での講座通信の編集にも携わっていただきました。



～グループワークのようす～

受講生のみなさんからは、「自分の問題が多く女性の問題だということに気づいた」、「仲間と出会えたことに感謝！」、「今回頑張って参加した自分を褒めてあげたい」など感想が寄せられました。

この講座で学んだことをさらに活かしていくためにも、次の一歩へつなげていただきたいと願っています。

4, 3月

「思いを力に変える、 女性のためのエンパワーメント塾」【実践編】

(全12回)

平成21年度「エンパワーメント塾」修了生のみなさんの主体的な学びを支援する講座として、修了生有志15名のみなさんが講座企画から運営・実施について話し合いながら“実践する力”を積み重ねてきました。仲間を講師に学び合ったり、もりおか女性センター事業に併せた学びや女性センターフェスティバルでの企画展示の開催などを行いました。

そして現在は、2年間の学びの集大成として『記録集』作成に向けた取り組みを行っています。

学び合った仲間とつながりながら、実践活動へと広がっています。これからの活動が楽しみです



～企画展示にて来場者との歓談～

「女性と防災」

(全2回)

～一人ひとりの安全が守られるまちづくりのために～

講義だけでは、イメージがわからない。

そうだと防災の現場に行こう！

そこで3年目の防災講座は、動いて、見て、考える「避難所シュミレーション」から始まりました。実際の避難所となる学校の体育館を会場に、ブルーシートで区割りし、体操マットやパティションを運び...汗だくになって思いました。ああ、夏場の避難所生活にクーラーはないと。防災カードゲーム HUG (ハグ) も体験しました。

たとえ仮想であれ、体験したことだから多くを学んだ今回の講座でした。最後に、イコールネット仙台の宗片さんの講演をお聞きし、私たちが考える防災とまちづくりについて、提言をまとめました。

参加者の声

・実際に体を使ってシュミレーションは貴重な体験でした。宗片さんのお話は説得力があり、今後の具体的な活動を想像でき、ワクワクしました。



～「避難所をデザインする。」
カードゲーム HUG に挑戦！～

8, 10月

「みんなのおしゃべりルーム」

～言葉にしよう自分の気持ち～ (全8回)

今年は30代40代の女性を対象に、8/24(火)～10/1(金)8回の企画で実施。自分も相手も大切にしながら、人間関係をスムーズにするためのアサーティブコミュニケーションを学ぶ講座でした。

語り合いとグループワークで、日常の様々な場面のコミュニケーションを考えることが出来ました。また、母親や夫との関わり方、子育て、そして自分の気持ちを楽にすることの大切さなど、沢山の語り合いが出来ました。

参加者の声

・グループワークでロールプレイ(役割劇)をやりました。難しいところもありましたが、自分の気持ちを深く考えることができました。

クリスマス企画「パパたちのおもしろ子育て塾」

～贈り物は何ですか？～ (全3回)

子どもの成長はあっという間。その時期を逃しちゃもったいない、もっと子育てを楽しもうよとパパたちに向けた講座でした。

第1回は、二部構成の公開講座で、第1部が大森昭生さん(共愛学園前橋国際大学教授)の講演、第2部が大森さんと奥畑充幸さん(山小屋「フィールドノート」)の対談でした。なかでも奥畑さんの自宅分娩体験談には会場のみなさん大感動でした。第2回では世界にたった一つのクリスマスオーナメントを家族に思いを込めて作り、第3回ではピザ作りに挑戦しました。料理ができた頃、ママと子どもたちも合流、一緒に交流会に参加しパパの手作りピザをたのしみました。



～ピザ作りに夢中なパパたち～

参加者の声

・工作は苦手でしたが、子どもが喜ぶ姿を見て、また何か作りたい。
・初めてピザ作りをしたが意外と簡単にできた。今度は子どもと一緒に作ると思う。

11, 12月

「起業ルーム 芽でるネット」

女性起業芽でる塾、IT活用講座



～起業支援ルーム
芽でるネット～

平成22年5月12日、もりおか女性センター別館内に「起業支援ルーム 芽でるネット」がオープンしました。この起業支援ルームでは、女性のための起業講座の他、パソコン講座などで母子家庭のお母さんの就労支援事業を継続的に行っています。

今年度の起業講座には、食と農業分野で起業を目指す女性たちが集まり、講座の中で起業の夢をブラッシュアップしました。また、昨年10月には、横浜で開かれた全国女性会館協議会の全国大会に起業講座修了生の藤原美子さん(和の野草茶クックハーブ)と中村美智子さん(中村みちこりんご園)のお二人が招かれ、商品を現地で販売することもでき、全国の皆さんの声を直接聞く良い機会となりました。今や、講座の修了生の皆さんが岩手県の各地で活躍されています。今後も「起業支援ルーム 芽でるネット」の講座が、女性たちの仕事への一歩の場となれば幸いです。

*来年度の起業講座にもどうぞご期待下さい。



～講座風景～

(全3回)

「就活なう！女子学生のためのシューカツ応援塾」

2月

もりおか女性センター初の試み、女子学生を対象とした就職活動支援のための講座を2月に3回にわたって実施しました。超氷河期と叫ばれる昨今、「地方」で「女子」というハンデばかりがマスコミでも取りざたされていますが、当センターとしても何とか学生のみなさんを応援できないかと企画した講座です。

岩手大学や盛岡大学、岩手県立大学、そして遠くは秋田の短大からもご参加いただき、未来への希望を感じる3日間となりました。



～講座風景
ドリームマップの発表～



講座では、仕事に長く携わっているお二人の先輩トークに始まり、5年後の未来を描く「ドリームマップ」作り社会人としての基礎力についても学習しました。

平成23年度もりおか女性センター事業のお知らせ

～事業テーマ～

「女性センターでふみだす私の一歩」

～つながる、ひろがる、変える！～

男女共同参画週間もりおか展 6/4(土)～10(金)

女性センターフェスティバル 10/7(金)～9(日)

女性に対する暴力をなくす運動 11/11(金)～17(木)

*この他、テーマにもとづく各種講座を予定しています。

～どうぞお楽しみに！～